



Flow BIサービス プラント管理

メタン発酵バイオガスプラントは生物反応を利用したシステムであり、その運用においては発酵槽の状態を把握することが極めて重要です。このため、発酵槽の状態をデータとして計測・記録し、それらのデータを有効に利用して分析することが求められます。

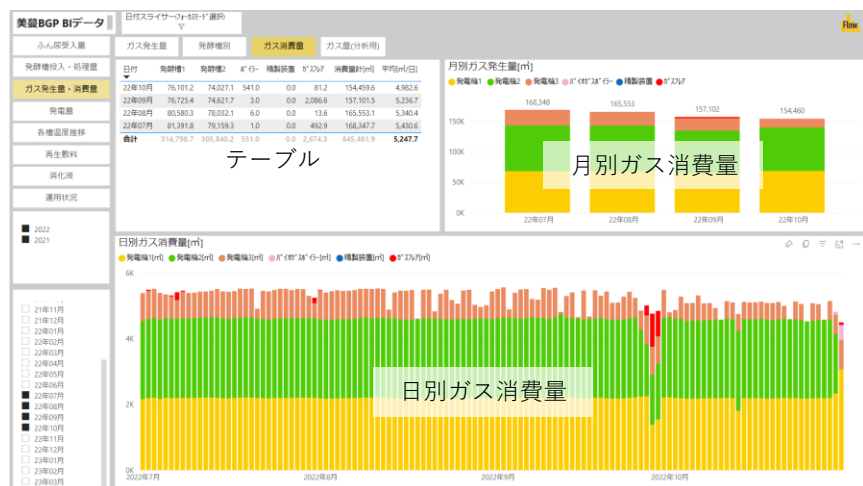
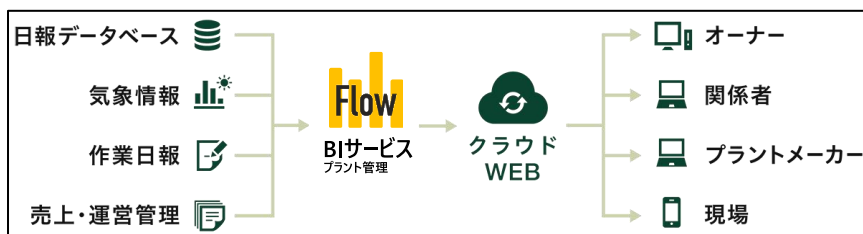
1 プラントの状態を可視化し安定運営に貢献

弊社のオリジナルサービスであるBIサービス プラント管理は、複数のデータやファイルを取り込み、データの可視化と分析を可能にします。

このサービスを利用することで、関係者は自身のPCやタブレットを通じてクラウド上でデータを確認・共有することができます。

プラントの状態をデータ化、さらに可視化することで、安定運営に貢献いたします。

- ◎ プラントの安定管理、トラブルの早期発見
- ◎ 安定稼働への運用ヒント、改善の発見
- ◎ ノウハウの蓄積
- ◎ 情報と認識の共有と会議資料の統一



▲BIデータ共有サービスサンプル画面



日々のデータ、CSVファイル、作業日報などを取込み可視化しプラント安定運営に貢献する弊社オリジナルサービスです。

裏面へ

2 変化をいち早く察知、原因と対応策を的確に判断

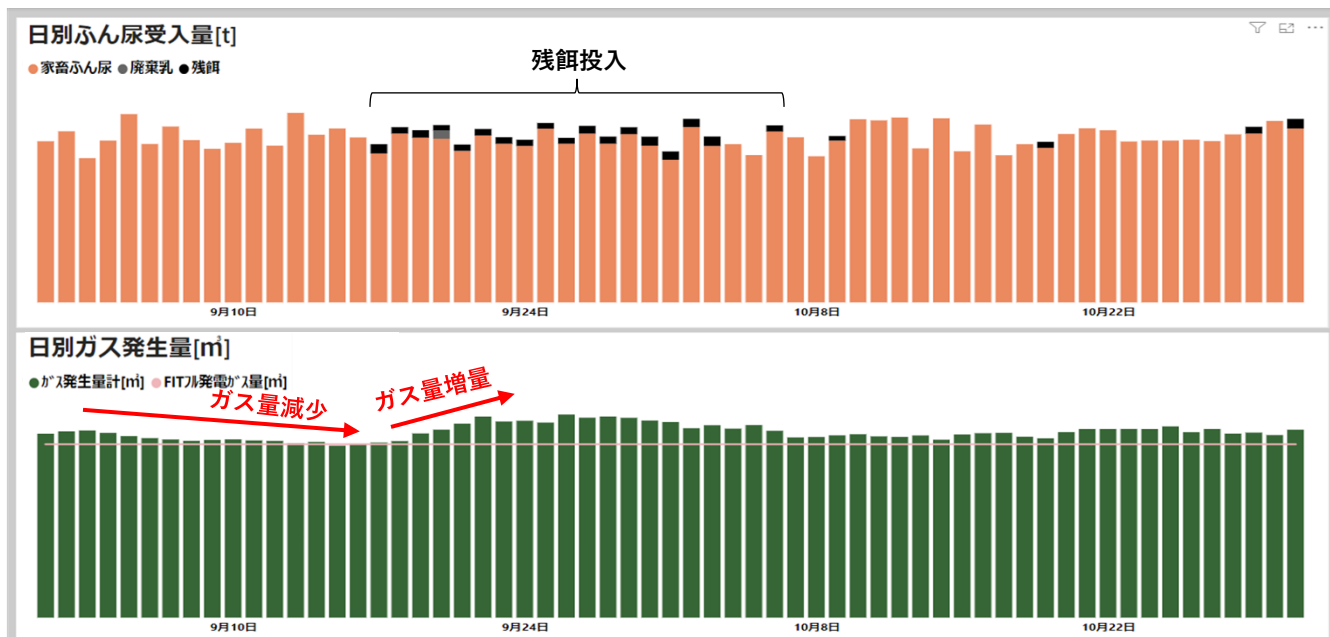
メタン発酵バイオガスプラントは、原料を入れればバイオガスが発生するという単純なものではありません。プラントの状態を把握し、適切に対処することが大変重要になります。BIデータ共有サービスを使えば、それが可能となります。ここでは、トラブルと処理事例を紹介いたします。

【トラブル事例と原因】

9月に入り、バイオガス発生量が徐々に低下トレンドに入りました。ふん尿受入量は平均すると大きく減っているわけではありませんでしたが、このままではFIT売電に必要なバイオガス量が確保できないという問題が生じました。緊急に原因究明を行った結果、猛暑により牛へ与える水分量が増え、結果的にふん尿の水分量が増加しガスポテンシャルが低下していることが判明しました。

【対応策と結果】

緊急会議の結果、ふん尿はそのまま、一定期間バンカー清掃時の残餌の投入（■）を行いました。投入後にバイオガスは予想通り一気に回復しました。これにより、FIT売電量を確保することができました。



3 稼働率を上げて事業成功、再エネ主力電源化へ！

我々のBIデータ共有サービスを使い管理している美蔓バイオガスプラントは、毎日データ更新を行い、監視と対応を実施しています。その結果、同プラントは運用開始以来90%を超える高い稼働率を維持しています。

高い稼働率は処理量や収益を向上させ、事業の成功につながります。さらに、再エネの主力電源化にも大きく貢献しています。

清水町美蔓バイオガスプラント 設備利用率

全国中央値※1
78.0%

2020年度 **92.1%**
2021年度 **92.0%**
2022年度 **92.2%**
2023年度 **93.7%**

※1 第83回 調達価格等算定委員会（2023年1月17日）資料1より

プラントごとに取得データや計測方法が異なります。その為、個別にシステム設計していきますのでお気軽にご相談ください。

Flow

フロー株式会社
北海道札幌市北区篠路町上篠路101-36
TEL:050-5375-3588 MAIL: info@flow.hokkaido.jp



公式HP



公式Twitter



公式Note